

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和7年3月7日

事業所名：多機能型児童発達支援ルーム らぼる

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。(保護者評価の単位は%)

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保		○		自力での座位移動等可能な利用児もおり限られたスペースでのゾーニングが難しい場合があるが、その際には屋外での活動などを取り入れ柔軟に対応している。	100					
	2 職員の適切な配置		○		利用児一人に対し一人に対応するが、活動準備や片付け、職員の休憩時間の確保にも努める。	80			20		
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい の特性に応じた設備整備		○		利用児からの発信方法を増やすための用具を検討していく。	60			40		
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保		○		加湿器や室温・湿度計、サーキュレーターを使用して室温・湿度を管理している。	100					
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画			○	日々の業務の振り返りは実施しているがPDCAには不完全						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施				第三者評価は未実施						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			研修会のアナウンスや助言を実施している。業務時間内の研修会には参加困難なため、工夫し参加できるように努める。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供	1		○		評価アンケート実施時点では未公表。3月中旬に公表。	100					
	2	○			モニタリング時期や送迎時など、保護者と子どもの様子を共有し合う機会を積極的に取っている。	100					
	3		○		5領域に沿った計画を立てているが、支援内容をより具体的に落とし込むよう改善していく。	100					
	4	○			子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成						
適切な支援の提供 (続き)	5	○			児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施						
	6		○		チーム全体での活動プログラムの立案						
	7	○			活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	80			20		今後も利用児が楽しめる活動の提供に努める。
	8		○		平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援						
	9	○			支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底						
10	○			支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化							

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○									
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	○									
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	○									
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援	○									
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○									
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○									
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			○	今後要望が出た場合に検討していく。	60			40		今後要望が出た場合に検討していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		○		事業所としての行事は行っていないが、地域のお祭りの参加への声かけ、獅子舞やお神輿は利用児が見られるようにしている。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○				100					
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○				100					
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		○		明確な支援は行っていないが、必要に応じ保護者に直接支援の様子を見てもらい支援方法を伝えている。	40	20		40		保護者からの相談には丁寧に応じることがもちろん、こちらからも積極的に働きかけるよう努める。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○				60	20		20		分かりやすい説明を心掛ける。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○				100					
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援			○	要望が聞かれないため未実施。今後要望が出た場合は検討していく。	40			60		今後要望があれば、保護者同士で話せる機会の提供を検討。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○				80			20		苦情が出た場合には、迅速に対応、報告に努める。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○				80			20		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
	9	○			日々の様子は、連絡ノートを活用。 また、事業所便りも定期的に発行している。	60			40	グループ通信を発行している。その際に定期的に発行している旨伝えていく。 ホームページの更新に努める。
	10	○				100				
非常時等の対応	1	○				40			60	マニュアルの設置場所の周知徹底を行う。
	2	○				20			80	避難訓練は年二回実施しているが、利用時間が異なるため全員参加に至っていない。 実施した日時様子等、広報する。
	3	○				/	/	/	/	
	4	/	/	/	該当児なし。今後、このような場合には医師と連携予定。	/	/	/	/	
	5	○				60			40	今後は折に触れ、保護者への計画周知を行う。
	6		○			60			40	療育内での安全対策の話はするが、それが計画に基づいていることが伝えられていないため、今後伝達が必要。

